

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健センター
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	自殺対策推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要  
自殺者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にあるため、自殺予防対策として、自殺の背景や原因の多くを占める健康問題、特にうつ病の理解のため、自殺予防の講演会などの開催や自殺予防についてリーフレットを配布するなど広く市民に啓発を行う。また、市内連絡会の開催や職員研修の実施及び相談業務に従事する保健師等の人材育成を図るため、研修会を実施し、相談技術のスキルアップを図る。ひきこもり対策を推進するため、ひきこもり状態の方及び家族等の福祉の増進を図ることを目的にひきこもりサポーター派遣事業を実施する。

29年度概要  
・若者支援事業  
・自殺予防相談支援事業  
・自殺対策職員養成研修（市内連絡会、相談従事者研修、職員研修会）  
・うつ病家族教室  
・地域・職域啓発事業

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	----	---------	-------------------


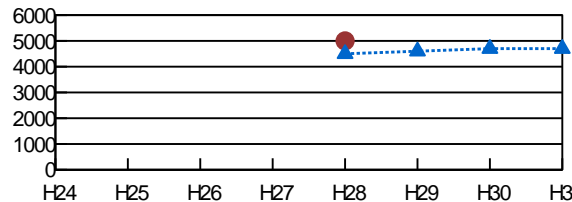

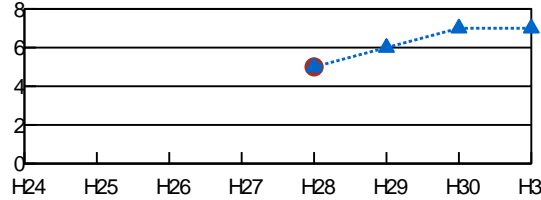
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の心の健康や自殺についての関心を高め、心の不調に気づき、ゲートキーパーの役割が担える人を増やす。また、生活習慣と抑うつ度の関係について、特に関係の深い休養やアルコールなどについて啓発を行う。自殺の増加を防ぐ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
啓発活動の実施回数	回			186	130	150
ひきこもりサポーター派遣回数	回			31	25	30

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	健康教育の参加者数	人	目標値			4,500	4,600	4,700
			実績値			5,000		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 地区担当保健師があらゆる機会に、こころの健康、休養・睡眠、飲酒及びゲートキーパーについての健康教育を行った結果、目標を達成することができた。 （目標達成度） 			（達成度） 111.1% 35点				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ひきこもり家族会であるNPO法人KHJ香川県オリーブの会やひきこもり地域支援センターアンダンテと連携を図って取り組んだ結果、目標を達成することができた。 （目標達成度） 			（達成度） 100.0% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	17,579	17,803	18,568	18,568
（事業費）	〔円〕	4,293	3,984	4,436	4,436
（職員人件費）	〔円〕	13,286	13,819	14,132	14,132

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

自殺対策基本法の改正により、市町村に自殺対策計画の策定が求められ、計画に基づいた事業の実施に交付金が県を通じて交付されることになったが、補助対象となる事業も拡充されたため、実現可能な事業に取り組む。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

若年層への啓発を重点的に行い、ひきこもりにも相談からサポーター派遣に繋げていく。また自殺対策計画策定の準備も進めていく。